



# 遷喬小だより

12月号②

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

## 人権参観日 12/1 高学年

<4年> とても落ち着いて授業を受けることができていたと思います。話している人の方に体を向けるということも、全員が意識することができていい雰囲気だなと思いました。表現し合うという意味では、限られた子が発表していたので、参観日でなく開放日を何日か指定していただけたら、普段の自然の姿が見られるかなと思います。

我が子は「誰かが困るからだけでなく、みんなが笑顔になるように」というところも忘れず持ち帰って来ていました。先生が用意されていた表情マークが(笑顔、困った顔、悲しい顔)その人の立場に立って見た時にどんな思いをしているのかがひと目で分かりやすくなって良かったです。『隣の人と相談』となると、サッと動いて話し合いができる姿や、発表に困ったお友だちがいた時に『〇〇さんにおたすけできる人』と先生が言うと、サッと手を挙げられるお友だちが何人もいてステキでした



4年

<5年> 高学年も終盤となれば、とても立派な授業態度でした。発表も一人一人考えがまとまっており、自分の伝えたいことがしっかりと伝えることができていました。聞く態度も最高でした。クラスの多様な回答に、色々な意見があるよねーと耳を傾けている様子に優しさや、成長を感じました。『命』についての授業は、とても奥が深く、難しい内容を考えることが出来ていたと思います。

今ある命が当たり前ではない事を改めて家庭でも話ことができました。これからも命の大切さを伝えて欲しいです。命の大切さを実感したりすることや、想像していくことは家族など身近な人や自分が体験しないと実感が湧かなかったりしますが、この授業がきっかけになり考えることができればよいなあと思います。



5年

<6年> 人権の授業では、親も勉強しないといけない！と考えさせられる内容でした。子供達は真剣に、自分の意見を考えている様子でした。「LGBTQ+」スクリーン、タブレットをしっかりと活用されていました。最後にプリントに記入する時間があったのですが、鉛筆のカリカリと書く音だけが教室に広がっていて、時間を超えても一生懸命書いている子が何人もいて、真剣に取り組んでいる姿にスゴ



6年

いなあと思いました この授業は、心が柔軟で素直な子どものうちに絶対に必要な内容だと思いました。いろいろな人がいて、みんなと同じじゃなくていいことをひとりでも多くの人知っているだけで、タイトルにもあった「自分らしく」を大切にできると思うし、人のことも大切にできると思います。これからの時代には必要な考え方でした。LGBTQ+ということについてみんなで考えるととても良い機会でした。みんな違って当然だし、自分の当たり前はみんなの当たり前ではないということを一人一人が認識していけたらより生きやすい世の中になりますね。進め、君らしく！今の時代だからこそ、しっかり考え向き合い、自分らしさで進んでほしいと思いました。

### 〈おおぞら学級〉



学年が混ざった授業でした。

大好きなお話で、みんな前のめりに授業に参加できていて仲の良さが見られました。気持ちを伝えることは簡単ではないと思いますが、表現できていて良かったです。

### 懇談・その他について



懇談ではみんなの悩み事が共有できて良かったです。懇談はグループ懇談でしたが、皆さん同じ悩みを持っていて、みんな同じなんですね！と話をしました。そして、皆さんの話を聞いて、子供の生活態度などで反省することもあったので、改善していきたいです。

コロナ禍も影響していると思いますが、学年フロアからだ、授業の様子が少し見えにくいことが残念です。

## 作品応募 表彰おめでとう！

### 税に関する習字

最優秀賞	6年	角田もも花			
久世税務署長賞	3年	花房 玲椰			
優秀賞	3年	谷本 遙			
入 選	6年	西田 獅童	5年	水田 絢音	
	4年	兼先 萌衣	4年	長尾 莉央	4年 花房 杏珠
	4年	難波 蓮音	4年	岡田陽葵太	
	2年	西田 真緒	2年	前田 咲來	2年 高坂 奈音
	1年	長尾 紗良	1年	大下 風香	1年 渡邊まおり